

キャンサーギフト

自らが白血病であることを告白し、闘病生活を送っていた競泳選手の池江璃花子さんは、2019年12月に退院しました。その際、公表したメッセージのなかには、「病気になったからこそ分かること、考えさせられること、学んだことが本当にたくさんありました」という言葉がありました。

同じように、「病気だからこそ得るものがある」と捉える言葉として、「キャンサーギフト」というものがあります。

「キャンサー」とは英語で「がん」のこと、「ギフト」は贈り物のことで、「がんを経験したからこそ得られるもの」という意味が込められています。

過酷な病気に立ち向かいながらも、がんになったことで得られた出会いや気づき、経験に目を向け、感謝しようというこの言葉は、全ての人に勇気を与えてくれます。

つらい状況に陥ると、誰もが落ち込んだり、不安になったりするものです。

しかし、どのような状況においても、プラスの面は必ずあります。

私たちには、どのようなときも、さまざまな「ギフト」が与えられています。それに気づくかどうかで、未来が変わってくるはずですよ。

今日の言葉 与えられた「ギフト」に気づきましょう

今日の気づき

コメント